

## 平成31年度事業計画

当センターの平成30年度の事業実績は、会員数、契約金額とも前年度実績を下回る見込みとなっています。特に、会員数は平成23年3月末の約5,250人をピークに、減少傾向に歯止めがかからない状況が続いています。会員の減少は組織の弱体化につながることから、センターを挙げての積極的な取り組みが求められています。このため、新規入会者の確保はもとより、退会抑制に向けた取り組みも必要となっています。加えて、傷害・賠償事故の発生抑制に向けた対策、また事務所施設等の有償化への対応など、新たな課題が生じています。

こうした状況のなか、女性会員が中心となって「女性向け入会説明会の開催」、「入園グッズ製作」の新規事業をはじめ、「制服リユース事業」の本格的な事業展開がマスコミに取り上げられるなど、大きな成果を挙げています。

また、安全委員会及び除草グループリーダー会議では、それぞれの課題解決に向け小委員会を設置し、調査・研究を進めています。

また、当センターは昭和54年「新潟市高齢者事業団」として発足以来、本年度で設立40周年を迎えます。この節目の年に当たり、感謝を伝え、一層の飛躍を誓い、そして社会的信用の向上につながる機会として記念事業を実施します。

会員一人ひとりが知恵を出し合い、お互いに協力し合いながら課題の解決や、新規事業及び地域貢献活動などに取り組み、その成果を着実に積み重ねていくことがセンターの魅力向上につながり、従来から実施している事業と相まって、会員の拡大、就業機会の確保に結びつくものと思います。

本年度も引き続き、各委員会、地区組織及び職群組織と連携を図りながら、「自主・自立、共働・共助」の基本理念を中心に据えて、次の平成31年度の基本方針及び事業実施計画に基づき、事業運営に当たっていきます。

## 平成31年度 基本方針

- 1 安定的な事業運営を目指した財政基盤の強化と新たな中期計画の策定
- 2 多様な就業機会の開拓・拡大と会員の確保
- 3 安全・適正就業の徹底
- 4 会員意識の高揚と普及啓発の推進
- 5 研修・講習の充実

## 事業実施計画

### 1 安定的な事業運営を目指した財政基盤の強化と新たな中期計画の策定

- (1) 補助金の確保を目指して、上部団体とともに引き続き国及び地方自治体への支援要請活動を行います。
- (2) シルバー人材センターを取り巻く環境の変化に対応する、新たな中期計画を策定します。
- (3) 事務所施設等の有償化への対応策について検討を進めます。
- (4) 役職員一丸となって一層の事務の効率化等を進め、安定的な事業運営に努めます。

### 2 多様な就業機会の開拓・拡大と会員の確保

- (1) 「1会員1就業開拓運動」及び「1会員1人入会促進運動」について、積極的な活動参加を呼びかけ実施します。
- (2) 役員等による事業所、一般家庭への「就業開拓訪問活動」を10月と3月に各区統一して実施します。
- (3) 受注契約の拡大を目指し、引き続き就業開拓員を配置するとともに、ハローワーク新潟において、就業相談窓口を定期的に開設し、会員拡大につなげていきます。また、ゴールド会員制度の導入など退会会員の抑制策について検討を進めます。
- (4) より多くの会員が就業機会を得られるよう、就業相談の実施及び就業情報の配布、掲示など情報提供に努めます。
- (5) 女性委員会を中心として情報交換等を行い、地区の特色や要望に沿った女性の就業開拓を推進します。また、女性向け入会説明会を開催するなど、女性会員募集に積極的に取り組みます。
- (6) 超高齢社会を見据えて、引き続き訪問介護事業及び介護予防・日常生活支援総合事業に取り組みます。また、地域ニーズに沿ったきめ細かな福祉・家事サービス事業の推進に努めます。
- (7) 女性会員が中心となって取り組んでいる独自事業の「制服リユース事業」、「入園グッズ製作事業」の一層の推進及び新たな独自事業の実施や各種講座の開催に向け、広く会員に呼び掛けます。
- (8) センターの情報発信の拠点施設となるシルバーショップ(仮称)の開設に向けて検討を進めます。
- (9) お客様（一般家庭）への満足度調査を実施し、その結果を基にサービスの向上やニーズに即した事業展開に努めます。
- (10) 新潟県シルバー人材センター連合会と連携を図りながら、労働者派遣事業、職業紹介事業の推進及び就業時間拡大の周知に努めます。

### 3 安全・適正就業の徹底

- (1) 安全就業強化月間(7月)に各役員や職群リーダーを対象に安全講習会を開催します。また、各地区で開催している安全講習会への年1回受講の

周知徹底を図ります。

- (2) 安全・適正就業について指導を行うため、安全委員・業務委員・地区代表等による地区ごとや地区を越えた相互の就業現場の巡回パトロールを実施します。
- (3) 安全意識を高めるため、安全標語等を募集し、広く啓発に活用します。  
また、「事故ゼロ」に向けた対策強化について調査・研究を進めるとともに、傷害・賠償事故が多発した場合、緊急警戒情報を発令し注意喚起を行い、事故抑制に努めます。
- (4) 加齢による身体機能の低下に対応するため、定期的な健康診断の受診について呼びかけます。
- (5) 「適正就業ガイドライン」の周知を図ると共に、一層の適正就業の推進に努めます。

#### 4 会員意識の高揚と普及啓発の推進

- (1) シルバー事業への理解と協力を得るため、定期的に会報を発行して会員等へ情報提供を行います。また、総会をはじめ各種行事への積極的な参加を呼びかけます。
- (2) 各地区において街頭PR活動、ボランティア活動及び「福祉・介護・健康フェア」をはじめ、各種イベント、行事等に参加し啓発活動に努めます。
- (3) センターの事業・活動について、積極的にマスコミへの情報提供を行うとともに、市報、新聞などへの広告掲載及びホームページの活用などにより情報発信を行い、センターの魅力向上に努めます。
- (4) 本年度、設立40周年の節目の年を迎えることから、記念式典等を開催します。

#### 5 研修・講習会等の充実

- (1) 「親切・丁寧・安心」をモットーに、誠実な仕事を通じてセンターの信頼を高めるため、職群別の技術や就業先におけるマナー向上を目指した研修・講習会を継続的に開催します。
- (2) 入会説明会、安全講習会の充実・強化を図るため、引き続き研修会等検討員会で検討を進めます。
- (3) 職群の課題等について検討を進め、職群の充実に努めます。
- (4) 職員の資質向上を図るため、新たな事業への対応や課題解決に向けた各種研修会への参加及びセンター独自の研修を実施します。